

以下の「論文タイトル」及び「論文概要」は、発表申込書から作成しています（順序不同）。研究会当日の発表では、都合により、タイトルや内容が一部変更になる可能性もあります。また、下記は全部の発表が掲載されていない場合があります。

●論文タイトル

対立的・相補的テキストの統合的理解について（仮）

●論文概要

世界的な情報通信技術の発展により、様々な形式のソースから多くの情報を手軽に得られるようになった。特に複数のテキストから、同じ、もしくは差異があるトピックを持つ情報の統合的な理解が求められることも多くなっている。

認知心理学では、複数テキストの統合的理解に関する研究が行われてきた。複数テキストは、そのテキスト同士の関係性から、各テキストが対立・矛盾する情報を提示している関係の「対立的テキスト」と、相補的な情報を提示している関係の「相補的テキスト」に分けられ、その特徴や性質についての研究が行われている。これらの研究を概観し、今後の展開について検討したい。

●論文タイトル

マニュアルの画像における“決定的瞬間”の応用可能性

●論文概要

マニュアルにおいて、利用者の機器利用に対する理解を助けるために、イラストなどの画像が使用されることがある。これまでの認知心理学的研究では、主に静物の情報が鑑賞者に伝達されやすい画像の特徴について研究がなされてきているが、機器を操作している最中などの、動的なシーンの情報を的確に利用者に伝達するための画像の特徴については、十分に検討されてきていない。動的なシーンに関して、“決定的瞬間”を捉えた画像は、被写体に関する情報をありありと鑑賞者に伝達し、様々に想像を膨らませることがある。本稿では、“決定的瞬間”に関する実証的な研究から、その概念をマニュアルの画像に応用する可能性について論じる。

●論文タイトル

オーセンティック・ウェルビーイング共創のマニュアル化の実現性について

●論文概要

SECIモデルにおける暗黙知の表出化のポイントで、それを形式知にするためにマニュアル化することは知られている。しかし、暗黙知はノウハウやテクニックのみを指すのではなく、そこにある人の想いや組織への愛着、メンバー相互に自己の成長をサポートする意識等、深い安心感を獲得するメカニズムが存在する場合がある。それらを網羅したマニュアルは実

現できるのか？とりわけ、そのために伝統ある組織は何を行ってきたのか？本論では、古来の精神文化でもある日本の「道」の中から「武道」の道場に焦点を当てて、武道が目的とするオーセンティック・ウェルビーイングの獲得について、知識科学の視座から見たマニュアル化の実現可能性を探求する。

●論文タイトル

メンタルモデルと操作学習に関する考察

●論文概要

テクニカルコミュニケーションを通して、ユーザーが適切なメンタルモデルを形成することが求められている。本発表では、製品の動作や仕組みに関するメンタルモデルに焦点をあてる。心理学や人間工学の研究成果に基づいて、メンタルモデルに対する基礎的理解を確認したうえで、1)製品や道具の操作体験がメンタルモデルの形成を促進した研究成果、2)動作原理に関するビデオマニュアルがメンタルモデル形成と操作に対する正確な理解を促進した研究成果を紹介する。さらに、製品操作と、メンタルモデルや操作体験との関係について、整理し考察を行う。

(2025.09.02)